

2026 年 7 月 8 日

2030 年冬季五輪におけるノルディック複合競技の除外発表に関する弊社の見解

この度、国際オリンピック委員会（IOC）より、2030 年冬季五輪においてノルディック複合競技を除外する旨の発表がなされました。この伝統ある競技の未来を揺るがす決定に対し、所属選手を支える企業として、またウィンタースポーツの発展を願う一員として、弊社の見解を表明いたします。

今回の決定は、これまでオリンピックの大舞台を目指し、日々過酷なトレーニングを積み重ねてきた選手たちの努力を否定しかねないものです。そればかりでなく、将来この競技で活躍することを夢見て懸命に努力を続けている若い世代、彼らを温かく応援し続けてきた多くのファンや関係者の皆さまのオリンピックに向けた「夢や希望」を奪うものであり、大変残念に受け止めております。

ノルディック複合は、冬季オリンピックの第 1 回大会から続く歴史と誇りある競技であり、キング・オブ・スキーというスポーツの醍醐味が凝縮された魅力的な種目です。

今般の IOC の決定は、競技界全体、ひいてはウィンタースポーツの未来に甚大な影響を与えるものです。弊社といたしましては、ウィンタースポーツが今後もさらなる発展を遂げ、世界中の人々に感動を与え続ける存在であるよう、今後も所属選手をはじめ、夢を追うアスリートたちを全力でサポートし、ノルディック複合競技の普及と発展に尽力してまいります。

日本航空株式会社

スキー・ノルディック複合選手のコメント

◇谷地 宙選手

今回の決定は残念ですが、真摯に受け止めています。

ノルディック複合は2つの種目を高いレベルで両立させる面白さがあり、私が人生をかけてきた、そして多くの夢や挑戦の機会を与えてくれた大切な競技です。

この決定を受け止めながら、自分にできることを含めてじっくり考えていきたいと思います。

◇葛西優奈選手

結果については望んでいたものとはなりませんでした、しっかりと受け止め、前を向いて進んでいきたいと思います。

2022年からのこの4年間、FISをはじめ、各国の選手やスタッフ、本当にたくさんの方々が、女子ノルディック複合のオリンピック正式種目化、そして男子種目の存続に向けて声を上げ続けてくださいました。私自身、ノルディック複合競技を選び、続けてきたことでこの競技でしか得られない経験や景色に出会うことができました。人として、そして競技者として大きく成長させてもらえた競技だと感じています。

2030年のオリンピック種目とはなりませんでした、ワールドカップや世界選手権など、私たちが挑戦できる舞台はこれからも続いていきます。今年の世界選手権では前回大会に続く2連覇を目標に頑張っていきたいと思っています。

◇葛西春香選手

今回のIOCの結果を受けて、今は受け入れ難くショックです。

これまでオリンピックを目指してきた私たち選手だけでなくコーチや家族、関係者の皆さまもオリンピックの存続と女子の追加を望んでいました。本当に悔しさと悲しさでいっぱいです。

人生をかけてきたこの競技に対する想いは変わりませんが、今は今後のことを考えられません。この現実と向き合い、受け止め、今後どうするかを考えたいと思っています。

日本航空株式会社